

歴代教員等一覽

(カッコ内は在任期間)

(二〇〇七年四月以降を掲載)

運営会議委員

天野文雄	戸部良一	末木文美士	倉本一宏	多田一臣	佐藤洋一郎	久保文明	大原謙一郎	馬田綾子	川北稔	劉建輝	牛村圭	坂井東洋男	荒川このみ	早川聞多	稲賀繁美
(12・4・1)	(10・4・1)	(10・4・1)	(10・4・1)	(10・4・1)	(10・4・1)	(10・4・1)	(10・4・1)	(10・4・1)	(09・4・1)	(08・4・1)	(08・4・1)	(08・4・1)	(08・4・1)	(08・4・1)	(07・4・1)
	14・3・31	14・3・31	14・3・31	16・3・31	15・4・30	16・3・31	16・3・31	16・3・31	14・3・31	10・3・31、	10・3・31、	10・3・31	14・3・31	14・3・31	
										13・4・1	15・4・1				

落合恵美子	保立道久	御厨成貴	李成市	吉澤健吉	時田アリソン	瀧井一博	細川周平	松田利彦	山田奨治	渡辺公三	福井憲彦	伊東貴之	荒木浩	徳田和夫	陣内秀信	植田和弘
(16・4・1)	(16・4・1)	(16・4・1)	(16・4・1)	(16・4・1)	(15・6・1)	(15・4・1)	(15・4・1)	(15・4・1)	(15・4・1)	(15・4・1)	(15・4・1)	(12・4・1)	(12・4・1)	(12・4・1)	(12・4・1)	(12・4・1)
					16・3・31	16・3・31									16・3・31	16・3・31

川村 湊 (16・4・1)  
 磯前 順一 (16・4・1)  
 パトリシア・フィスター (16・4・1)

顧問

梅原 猛 (95・5・21)

海外研究交流顧問

ロナルド・ドーア (06・4・1)  
 08・3・31

名誉教授 (称号授与年順)

\* 埴原 和郎 (93・4・1)  
 \* 河合 隼雄 (94・4・1)  
 久野 昭 (94・4・1)  
 伊東 俊太郎 (95・4・1)  
 中西 進 (95・4・1)  
 速水 融 (95・4・1)  
 村井 康彦 (95・4・1)  
 梅原 猛 (95・5・21)  
 \* 杉本 秀太郎 (96・4・1)

\* 濱口 俊 (97・4・1)  
 芳賀 徹 (97・4・1)  
 山折 雄 (97・4・1)  
 山田 慶 (97・4・1)  
 \* 飯田 経夫 (98・4・1)  
 尾本 恵市 (99・4・1)  
 石井 紫郎 (01・4・1)  
 木村 汎 (02・4・1)  
 赤澤 威 (04・4・1)  
 今谷 明 (08・4・1)  
 \* 片倉 もとこ (08・4・1)  
 千田 稔 (08・4・1)  
 合庭 惇 (09・4・1)  
 井波 子 (09・4・1)  
 猪木 武徳 (12・4・1)  
 安田 喜憲 (12・4・1)  
 鈴木 貞美 (13・4・1)  
 宇野 隆夫 (13・4・1)  
 白幡 三郎 (14・4・1)  
 戸部 良洋 (14・4・1)  
 早川 聞多 (15・4・1)

笠谷 和比古 (15・4・1)  
末木 文美士 (15・4・1)

(\*印は故人)

所長

猪木 武徳 (08・4・1)  
小松 和彦 (12・4・1)

副所長

小松 和彦 (10・4・1)  
宇野 隆夫 (12・4・1)  
井上 章一 (13・4・1)  
稲賀 繁美 (16・4・1)  
劉 建輝 (16・10・1)

研究調整主幹

細川 周平 (07・4・1)  
白幡 洋三郎 (08・4・1)  
宇野 隆夫 (08・4・1)  
井上 章一 (09・4・1)

早川 聞多 (10・4・1)  
稲賀 繁美 (10・4・1)  
戸部 良一 (12・4・1)  
白幡 洋三郎 (12・4・1)  
倉本 一宏 (12・4・1)

情報管理施設長

荒木 浩 (14・4・1)  
山田 奨治 (14・4・1)  
劉 建輝 (14・4・1)  
松田 利彦 (16・4・1)  
磯前 順一 (16・4・1)

文化資料研究企画室長

鈴木 貞美 (08・4・1)  
早川 聞多 (10・4・1)  
白幡 洋三郎 (12・4・1)  
山田 奨治 (14・4・1)

文化資料研究企画室長

鈴木 貞美 (08・4・1)  
森 洋久 (10・4・1)  
早川 聞多 (12・4・1)

マルクス・リニッターマン(14・4・1) 17・3・31)

※文化資料研究企画室は、二〇一七年三月三十一日をもって廃止

海外研究交流室長

細川周平(07・4・1) 09・3・31)  
 宇野隆夫(09・4・1) 10・3・31)  
 山田奨治(10・4・1) 12・3・31)  
 劉建輝(12・4・1) 14・3・31)  
 瀧井一博(14・4・1) 16・3・31)  
 坪井秀人(16・4・1)

インスティテューショナル・リサーチ室長

山田奨治(16・4・1)

管理部長

佐久間研二(07・10・1) 09・7・13)  
 丹沢広行(09・7・14) 13・3・31)  
 竹田和彦(13・4・1) 16・3・31)  
 北出猛夫(16・4・1)

## 専任教員（二〇〇七年四月以降を掲載）

就任年月日	氏名	職名	前職	等
07・4・1	磯前順一	准教授	日本女子大学助教授から（15・4・1教授昇任）	
07・10・1	瀧井一博	准教授	兵庫県立大学教授から（13・7・1教授昇任）	
08・8・1	郭南燕	准教授	オタゴ大学准教授から	
08・9・1	ジョン・ブリン	准教授	ロンドン大学SOAS准教授から（11・4・1教授昇任）	
09・4・1	戸部良一	教授	防衛大学校教授から（14・3・31定年退職）	
09・4・1	末本文美士	教授	東京大学大学院教授・国際日本文化研究センター客員教授から（15・3・31定年退職）	
09・4・1	倉本一宏	教授	駒沢女子大学教授から	
09・8・1	森久洋	准教授	大阪市立大学准教授・国際日本文化研究センター特別客員准教授から（17・3・31辞職）	
10・1・1	榎本涉	准教授	採用	
10・4・1	荒木浩	教授	大阪大学大学院教授から	
10・4・1	伊東貴之	教授	武蔵大学教授から	
10・4・1	佐野真由子	准教授	静岡文化芸術大学准教授から	
10・8・1	尾形洋一	特任助教	採用（11・3・31任期滿了退職）	
11・4・1	小都晶子	特任助教	採用（13・3・31任期滿了退職）	
12・4・1	丸川雄三	准教授	国立情報学研究所連想情報学研究開発センター特任准教授から（13・9・30辞職）	
13・1・1	寺村裕史	特任准教授	採用（15・3・31任期滿了退職）	
13・4・1	北浦寛之助	教授	京都造形大学非常勤講師から	
13・10・1	大塚英志	教授	神戸芸術工科大学教授・国際日本文化研究センター客員教授から	
13・10・1	宮崎康子	特任助教	採用（16・3・31任期滿了退職）	
14・4・1	坪井秀人	教授	名古屋大学教授から	
15・4・1	楠綾子	准教授	関西学院大学准教授・国際日本文化研究センター客員准教授から	

16	16	16	15	15
・	・	・	・	・
10	4	4	10	4
・	・	・	・	・
1	1	1	1	1
吳	石	磯	古	石
座	川	田	川	上
勇		道	綾	阿
一	肇	史	子	希
助	助	准	特	特
教	教	授	任	任
		教	助	助
		授	教	教
		採	採	採
		用	用	用
立	国	静	採	採
教	際	岡	用	用
大	日	文		
学	本	化		
兼	文	学		
任	化	大		
講	研	学		
師	究	教		
・	セ	授		
国	ン	か		
際	タ	ら		
日	ー			
本	機			
文	関			
化	研			
研	究			
セ	員			
ン	か			
タ	ら			
ー				
客				
員				
准				
教				
授				
か				
ら				

客員教員（二〇〇七年四月以降を掲載）

氏名	就任時の所属	在任期間
望月 和彦	桃山学院大学教授	07. 4. 1 ~ 10. 3. 31
Friedrich Delyer	元 関西大学教授	07. 4. 1 ~ 10. 3. 31
SCHAUWECKER		
川勝 平太	静岡文化芸術大学学長	07. 4. 1 ~ 08. 3. 31
落合恵美子	京都大学大学院教授	07. 4. 1 ~ 09. 3. 31
大嶋 仁	福岡大学教授	08. 4. 1 ~ 11. 3. 31
奥野 卓司	関西学院大学教授	08. 4. 1 ~ 11. 3. 31
上垣外憲一	帝塚山学院大学教授	08. 4. 1 ~ 11. 3. 31
末木文美士	東京大学大学院教授	08. 4. 1 ~ 09. 3. 31
古田島洋介	明星大学教授	09. 4. 1 ~ 12. 3. 31
酒井 哲哉	東京大学教授	10. 4. 1 ~ 12. 3. 31
高橋 伸彰	立命館大学教授	10. 4. 1 ~ 12. 3. 31
林 淳	愛知学院大学教授	10. 4. 1 ~ 13. 3. 31
近藤 好和	國學院大學兼任講師他	10. 4. 1 ~ 13. 3. 31
浦田 義和	佐賀大学教授	11. 4. 1 ~ 14. 3. 31
張 競	明治大学教授	11. 4. 1 ~ 14. 3. 31
依岡 隆児	徳島大学大学院教授	11. 4. 1 ~ 14. 3. 31
中村 和恵	明治大学教授	11. 4. 1 ~ 14. 3. 31
飯塚 靖	下関市立大学教授	12. 4. 1 ~ 15. 3. 31
大塚 英志	神戸芸術工科大学教授	12. 4. 1 ~ 13. 9. 30

氏名	就任時の所属	在任期間
御厨 貴	放送大学教授	12. 4. 1 ~ 15. 3. 31
山 泰幸	関西学院大学教授	12. 4. 1 ~ 13. 3. 31
谷川 建司	早稲田大学大学院客員教授	13. 4. 1 ~ 16. 3. 31
阿部 泰郎	名古屋大学大学院教授	13. 4. 1 ~ 16. 3. 31
中生 勝美	桜美林大学教授	13. 4. 1 ~ 16. 3. 31
吉川 真司	京都大学大学院教授	13. 4. 1 ~ 16. 3. 31
仲 万美子	同志社女子大学教授	14. 4. 1 ~ 17. 3. 31
橋爪 紳也	大阪府立大学教授	14. 4. 1 ~ 17. 3. 31
上野 誠	奈良大学教授	14. 4. 1 ~ 17. 3. 31
真鍋 昌賢	北九州市立大学教授	15. 4. 1 ~ 17. 3. 31
安井眞奈美	天理大学教授	15. 4. 1 ~ 17. 3. 31
吉村 和真	精華大学教授（副学長）	16. 4. 1 ~ 17. 3. 31
三澤眞美恵	日本大学教授	16. 4. 1 ~ 17. 3. 31
長田 俊樹	総合地球環境学研究所名誉教授	16. 4. 1 ~ 17. 3. 31
佐野真由子	静岡文化芸術大学講師	07. 4. 1 ~ 10. 3. 31
中島 岳志	北海道大学公共政策大学院准教授	07. 4. 1 ~ 10. 3. 31
千葉 慶	明治大学非常勤講師	08. 4. 1 ~ 11. 3. 31
平野共余子	元映画専門大学院大学非常勤講師	08. 4. 1 ~ 11. 3. 31
磯田 道史	茨城大学准教授	08. 4. 1 ~ 11. 3. 31
片山 杜秀	慶応義塾大学准教授	09. 4. 1 ~ 12. 3. 31

橋本 順光	大阪大学准教授	09	09	4	4	1	1	1	1	31
上村 敏文	ルーテル学院大学准教授	09	09	4	4	1	1	1	1	31
森 勇一	金城学院大学講師	10	10	4	4	1	1	1	1	31
多田 伊織	皇學館大学大学院非常勤講師	11	10	4	4	1	1	1	1	31
	鈴鹿医療科学大学非常勤講師	11	10	4	4	1	1	1	1	31
	京都大学人文科学研究所非常勤講師	11	10	4	4	1	1	1	1	31
小川原正道	慶應義塾大学准教授	11	11	4	4	1	1	1	1	31
木村 朗子	津田塾大学准教授	11	11	4	4	1	1	1	1	31
辻垣 晃一	京都府立東舞鶴高等学校教諭	11	11	4	4	1	1	1	1	31
楠 綾子	関西学院大学准教授	12	12	4	4	1	1	1	1	31
滝澤 修身	長崎純心大学教授	12	12	4	4	1	1	1	1	31
奈良岡聰智	京都大学大学院准教授	13	13	4	4	1	1	1	1	31
中町美香子	京都大学非常勤講師	13	13	4	4	1	1	1	1	31
木村 直恵	学習院女子大学准教授	14	14	4	4	1	1	1	1	31
今泉 宜子	明治神宮国際神道文化研究所主任研究員	15	15	4	4	1	1	1	1	31
大久保健晴	慶應義塾大学准教授	15	15	4	4	1	1	1	1	31
林 洋子	文化庁芸術文化調査官	15	15	4	4	1	1	1	1	31
呉座 勇一	東京大学大学院学術研究員	15	15	4	4	1	1	1	1	31
小川 順子	中部大学准教授	15	15	4	4	1	1	1	1	31
加藤 雄三	専修大学非常勤講師	16	16	4	4	1	1	1	1	31
羽鳥 隆英	新潟大学助教	16	16	4	4	1	1	1	1	31

〔特別客員准教授〕		氏名		就任時の所属		在任期間	
	喜多 千草	10	08	4	4	1	1
	森 洋久	09	09	4	4	1	1
	齋藤 俊文	10	09	4	4	1	1
		08	08	4	4	1	1
		09	09	4	4	1	1
		10	09	4	4	1	1
		11	09	4	4	1	1
		12	09	4	4	1	1
		13	09	4	4	1	1
		14	09	4	4	1	1
		15	09	4	4	1	1
		16	09	4	4	1	1
		17	09	4	4	1	1
		18	09	4	4	1	1
		19	09	4	4	1	1
		20	09	4	4	1	1
		21	09	4	4	1	1
		22	09	4	4	1	1
		23	09	4	4	1	1
		24	09	4	4	1	1
		25	09	4	4	1	1
		26	09	4	4	1	1
		27	09	4	4	1	1
		28	09	4	4	1	1
		29	09	4	4	1	1
		30	09	4	4	1	1
		31	09	4	4	1	1



## 〔外国人研究員〕

氏名	就任時の所属	上記機関の所在国	受入期間	研究テーマ
Iouia Karaki GIANNAKOPOULOU	アテネ大学教授	ギリシヤ	07・4・1～07・7・31	エーゲ海新石器時代の貝文化―日本の縄文・弥生との比較
Hyung-II Pai	カリフォルニア大学サンタバーバラ校准教授	アメリカ	07・4・1～08・3・28	観光産業と「日本文化財」の宣伝・博物館、記念物と先祖遺産のマーケティング
金 榮 哲	漢陽大学校国際文化大学教授	韓国	07・4・1～08・3・31	朝鮮と江戸時代の文芸に現れる遊興の美意識の比較研究
Gilles Jean-Pierre CAMPAIGNOLO	フランス国立科学研究センター研究員	フランス	07・4・1～08・3・31	日本の近代化を論じた「外書」―日文研および関西の図書館を利用して
王 維 坤	西北大学副院長	中国	07・4・1～08・3・31	古代中国と日本の都城・墓制文物交流の研究
Brian Douglas RUPPERT	イリノイ大学アーバナシャンペーン校准教授	アメリカ	07・7・1～08・6・30	日本中世後期における経蔵・書写活動及び寺院ネットワークの変遷
汪 宏 倫	台湾中央研究院社会学研究所准研究員	台湾	07・7・1～08・6・30	日中に於ける歴史を書く政治…そのフィードバック、価値観及びモダンティーの未完成プロジェクト
Frederic Rene Robert GIRARD	フランス国立極東学院研究員	フランス	07・8・1～08・7・31	中世に於ける宗教・思想の研究
Hugh Barry DE FERRANTI	ニューイングランド大学助教	オーストラリア	07・8・1～08・1・31	音楽体験から見た日本の近代…世界大戦間の大阪を例に
Michael S. MOLASKY	ミネソタ大学准教授	アメリカ	07・9・1～08・8・31	ジャズ喫茶と戦後日本文化

金 貞	惠釜山外国語大学校東洋語大学教授	韓 国	07・9・15	08・8・31	在日コリアン文学に表れたディアスポラの様相と意味
周 見	中国社会科学院世界経済政治研究所教授	中 国	07・9・15	08・8・31	洪沢栄一と近代中国
William Jefferson TYLER	オハイオ州立大学準教授	アメリ カ	07・10・15	08・9・29	世界に石川淳を紹介する（その第三段）——壮年期代表作『荒魂』の英訳
Karin Gunilla LINDBERG-WADA	ストックホルム大学教授	スウェーデン	07・10・15	08・8・31	世界文学史の中の日本文学
Purnendra Chandra JAIN	アデレード大学アジア研究センター教授	オーストラリア	07・11・15	08・1・31	日本の選択・急成長する中国と浮上するインドの間で
Alexander VOYIN	ハワイ大学マノア校教授	アメリ カ	08・1・15	09・9・30	『万葉集』の英語全注釈と翻訳
金 弼 東	世明大学校副教授	韓 国	08・3・15	09・2・28	日本の「東アジア経済圏」構想と「アジアアイデンティティ」に関する研究
王 中 忱	清華大学教授	中 国	08・3・15	09・2・28	近代知としての「満蒙」及び「満蒙史」研究の設立とその行方
Alison Isobel Rae TOKITA	モナシユ大学日本センター教授	オーストラリア	08・4・15	09・3・31	両世界大戦間（一九一八—一九三八年）の大阪における音楽と近代
蔡 敦 達	同済大学教授	中 国	08・4・15	08・9・30	日本文明における長江文明の摂取
Kuldeep Kumar BHAN	マハラジャサラジラオ大学教授	イン ド	08・6・30	09・3・20	インド考古学へのGISの応用
David HUGHES	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院シニアレクチャラー	イギリス	08・7・15	08・12・15	日本民謡の将来…保存会とコンクールの役割と影響

Felix Ullombe KAPUTU	ルブンバシ大学教授	コンゴ民主共和国	08・7・15	09・3・31	北日本の「いたこ」現象と中央アフリカの「Mikishi」― 社会宗教学的比較研究―
Mauricio MARTINEZ RODRIGUEZ	ロスアンデス大学教授	コロンビア	08・7・15	09・6・30	スペイン語版インターネット日本芸能百科事典
趙 政 男	高麗大学校政経大学教授	韓 国	08・8・15	09・7・31	現代日本の政治理念研究
胡 宝 華	南開大学副教授	中 国	08・9・15	09・8・31	二十世紀における日本学者の中国史研究
Michel DALISSIER	フランス国立科学研究庁(CNRS)	フ ラ ン ス	08・9・15	09・8・31	日本現代哲学についての研究
雷 国 山	南京大学助教授	中 国	08・9・15	09・7・31	武士道総合研究
Ami Aminah MEUTIA	インドネシア科学研究所研究員	イ ン ド ネ シ ア	08・10・15	09・3・31	環境サステイナビリティにおけるローカルノレッジの 役割、インドネシア・マンニンジョウ湖と日本・琵琶 湖の比較研究
Wolfgang SCHAMONI	ハイデルブルグ大学名誉教授	ド イ ツ	08・10・15	09・3・31	十八・十九世紀の自伝・伝記文学の研究
林 慶 花	成均館大学校研究教授	韓 国	08・11・15	09・3・31	帝国の声・民族の声―近代東アジアにおける「民謡」 言説比較
河 名 サ リ	マサチューセッツ大学ボストン校助教授	ア メ リ カ	09・1・15	09・5・31	マンガ文化と日本の視覚文化
Anu JINDAL	画家・日本美術史研究家	イ ス ラ エ ル	09・3・15	10・2・28	美女の理想としての傾城・浮世絵とインド細密画
Yona SIDERERER	エルサレム・ヘブライ大学シニア アレクチャラー	イ ス ラ エ ル	09・4・15	10・3・31	日本の近現代化学史

尹 海	東成均館大校教授	韓 国	09・4・10・3・31	国家としての朝鮮総督府
陳 玲	清華大学准教授	中 国	09・4・10・3・31	京都祇園祭―異文化「共存」の歴史的モデルとして
蔡 慧 玉	中央研究院台湾史研究所副研究員	台 湾	09・4・10・11・30	「湾宮」…日本人街庄長の分析(一九二〇～一九四五)を例として―植民地官僚と日本の台湾支配の一考察
Theodore F. Cook	ニュージャージーウィリアムズ大学教授	ア メ リ カ	09・5・10・8・31	全面戦争中の文化―日本の体験
David Gabriel	シベリウス音楽院教授	フィンランド	09・6・10・8・31	日本の吹奏楽作品にみるトランスカルチャレーショントハイブリディティ
Namin HUR	ブリティッシュコロンビア大学准教授	カナダ	09・6・10・5・31	秘仏の誘い―開帳と日本近世の宗教文化
野 原 博 淳	フランス国立科学研究所センターシニアリサーチャー	フランス	09・7・10・6・30	バイオテクノロジー発展の日仏比較…コンピータンスのネットワーク化と知識獲得メカニズム
黄 自 進	中央研究院近代史研究所研究員(教授)	台 湾	09・7・10・6・30	満州事変の再考察…日中関係史における位置づけ
Murielle HLADIK	サンチェンス国立建築高等研究院准教授	フランス	14・6・15・5・31	日本の軍事戦略と東アジア社会―日中戦争期を中心として―
Giang Thi Thu PHAM	ベトナム国家大学附属人文社会科学大学専任講師	ベトナム	09・7・10・2・28	建築と庭園―東洋と西洋における交流の展望―
蔣 立 峰	中国社会科学院日本研究所教授	中 国	09・8・10・3・31	日本仏教における肉食妻帯問題―その実態および思想的特徴―
Jeffrey Matthew ANGLETS	ウェストミシガン大学助教授	ア メ リ カ	09・8・30・10・8・29	日本における翻訳の文化史

林 志 弦	漢陽大学校比較歴史文化研究所所長	韓 国	09・9・1	10・8・31	犠牲者意識の民族主義
Philip Tudor	オックスフォード大学クイーンズカレッジフェロー	イギリス	09・9・1	10・8・31	奈良・平安初期の和歌における地名の使い方
李 相 燦	ソウル大学校人文大学教授	韓 国	09・9・1	10・8・31	明治期近代文書管理制度成立過程研究
趙 維 平	上海音楽学院教授	中 国	09・9・1	10・8・31	東アジアにおける中国音楽の受容に関する研究―日本、朝鮮、ベトナム宮廷音楽の初期史を中心に―
Ekkehard MAY	フランクフルト大学名誉教授	ド イ ツ	09・12・1	10・5・31	芭蕉俳文の研究
根 川 幸 男	ブラジリア大学准教授	ブラジル	10・1・1	11・12・31	新世界ブラジルにおける日本の教育文化の越境と展開
高 崇 文	北京大学考古文博学院院长	中 国	10・4・1	11・3・31	中日間の古代都市文明に関する比較研究
呉 京 煥	釜山大学校教授	韓 国	10・4・1	11・3・31	日本浪漫派とアジア
Aida	極東国立総合大学准教授	ロ シ ア	10・4・1	11・3・31	二〇世紀前半の北東アジアにおけるロシア亡命人の文芸詩と近代短歌
SULEYMANOVA					
Roman	シドニー大学名誉アソシエイト	オーストラリア	10・4・1	11・3・31	日本の戦後文化研究…戦争の傷跡と焼け跡、闇市世代
ROSENBAUM					
Bernard FAURE	コロンビア大学教授（日本宗教学センター所長）	ア メ リ カ	10・4・2	10・6・30	中世日本宗教の一側面―三天信仰（弁財天、茶吉尼天、毘沙門天）について
Pullattu Abraham	ジャワハルラル・ネルー大学教授	イ ン ド	10・6・1	11・5・31	文学の中の宗教と民間伝承の融合…宮沢賢治の世界観の再検討
GEORGE					

魏	大海	中国社会科学院外国文学研究所 研究員(教授)	中	国	10・6・1	11・5・31	日中近代文学ジャンルの比較研究―「純文学」「大衆文学」「私小説」「心境小説」などを中心に
崔	官	高麗大学校日本研究センター所長 「聖クリメント・オフリドスキ」 ソフィア大学教授	韓	国	10・6・1	11・2・28	戦争・記憶・想像力
Boyka Elit				ブルガリア	10・7・1	11・6・30	京都禅寺における普遍概念の表現
TsigoVA			韓	国	10・7・1	11・6・30	小説から浮世絵へ、越境する江戸表象文化考―(藤栗毛もの)の図様継承史を端緒に―
康	志賢	全南大学校副教授	韓	国	10・7・1	11・6・30	小説から浮世絵へ、越境する江戸表象文化考―(藤栗毛もの)の図様継承史を端緒に―
Misyuo WADA-		カールトン大学准教授	カナ	ダ	10・8・1	11・7・31	現代日本映画と映像文化におけるニューメディアの影響
MARCIANO		カールトン大学芸術文化大学教授	韓	国	16・9・1	17・8・31	3・11以後のディスコース／『日本文化』
徐	載坤	韓国外国語大学校副教授	韓	国	10・9・1	11・8・31	日本現代文学と戦争表象
韓	東育	東北師範大学教授(院長)	中	国	10・10・1	11・9・30	近世日本における知の再編と来日儒学者・朱舜水
王	鉄軍	遼寧大学日本研究所副研究員	中	国	10・10・1	11・9・30	戦前日本植民地官僚制度研究―台湾総督府と関東庁との比較を中心として
Thi Thanh Tam		ベトナム科学技術協会技術開発研究所副所長	ベトナム	10・11・1	11・10・31	ベトナム高等教育における「日本文化」教育のための基礎的研究	
NGUYEN							植民地近代国家の夢と「満州国」美術展
王	确	東北師範大学文学学院院长	中	国	11・4・1	12・3・31	韓国民衆における公と私という問題―韓国の小説と「私的公共性」という問題を中心として
金	哲延世	延世大学校教授	韓	国	11・4・1	12・2・28	韓国民衆における公と私という問題―韓国の小説と「私的公共性」という問題を中心として
Cynthia VIALLE		ライデン大学研究員	オランダ	11・4・1	12・8・31	オランダから江戸まで―徳川時代における東インド会社の献上品	
Daniel ROH		(財) 未来工学研究所研究参与	日本	11・4・1	12・3・31	戦後日韓関係の心理構造	

朴 贊 勝	漢陽大学校東アジア文化研究所所長	韓 国	11・4・15	12・1・31	一九二〇・三〇年代日本の新聞・雑誌の朝鮮流入
Philippe BONNIN	フランス国立科学研究センター教授	フランス	11・6・15	12・5・31	仕掛けと概念・空間と時間の日仏比較建築論
Thi Oanh NGUYEN	ベトナム社会科学学院准教授	ベトナム	11・6・15	12・5・31	日本説話における鬼神世界―ベトナムとの比較
楊 曉 捷	カルガリー大学教授	カナダ	11・7・15	12・6・30	デジタル環境が創成する古典画像資料研究の新時代
Gary James HICKEY	クイーンズランド大学英語・メディア研究・美術史学科美術館 研究主査	オーストラリア	11・7・15	12・6・30	文化的な相違・オーストラリアと日本
Frederick DICKINSON	ペンシルベニア大学准教授	アメリカ	11・7・15	12・3・31	戦間期世界における政治指導の困難・浜口雄幸を中心に
都 珍 淳	昌原大学教授	韓 国	11・9・15	12・8・31	一九世紀開港に対する韓・中・日の記憶と記念に関する比較研究
Hans Martin KRAMER	ルール大学准教授	ドイツ	11・9・15	12・7・31	明治初年の浄土真宗海外教状視察団と近代日本の「宗教」概念形成
劉 克 申	上海对外貿易学院教授	中 国	11・10・15	12・9・30	日本医学史に関する研究
徐 興 慶	台湾大学日本語文学系・日本語文学研究所教授兼系主任・所長	台 湾	11・10・15	12・9・30	近代日本知識人の中国観―伝統と近現代の葛藤における徳富蘇峰の視点とその役割―
刘 岳 兵	南開大学教授	中 国	11・11・15	12・10・31	前近代の日本における中国認識とその変遷——一八世紀を中心
大 貫 恵美子	ウィスコンシン大学教授	アメリ カ	12・4・15	12・8・31	象徴人類学、医療人類学、歴史人類学、理論と方法論、言語人類学、他

Soyombo Lubsangabyn BORJIGIN	チヨイ・ルブサンジャブ言語文明大学教授	モンゴル	12・4・13	31	民族学、文化人類学
韋 立新	広東外語外貿大学教授	中国	12・4・13	13	日本文化、日本仏教史、日中文化交流史
金 哲会	北京語言大学教授	中国	12・4・13	31	日本語、日本文学、日本文化
Kulartika KUMARASINGHE	ケラニヤ大学教授	スリランカ	12・6・13	31	シンハラ演劇と日本伝統芸能の影響
Jörg B. QUENZER Kacem ZOUCHARI	ハンブルク大学教授 フランス国立東洋言語文化大学 フランス日本協会研究者	ドイツ フランス	12・7・13 12・7・13	30	夢と表象―メディア・歴史・文化 日本とヨーロッパの古伝武術の伝授方法の共通点
魯 成煥	蔚山大学校人文大学教授	韓国	12・8・13	31	日本の神になった朝鮮人（―文禄、慶長の朝鮮捕虜を中心―）
林 志宣	延世大学校教授	韓国	12・9・13	31	民族主義的な形式を取る現代音楽の超民族的な様相―韓国と日本の作曲家の伝統楽器適用の研究―
Wybe KUIJERT	ソウル国立大学准教授	韓国	12・9・13	31	ルイ一四世からのヨーロッパ庭園論争と日本情報
陳 小法	浙江工商大学准教授	中国	12・9・13	31	遣明使と大運河―策彦周良を中心に―
張 翔復	復旦大学教授	中国	12・10・13	31	「心身/身心」と「環境」の哲学―東アジアの伝統的 概念の再検討とその普遍化の試み―
徐 勇	北京大学教授	中国	12・10・13	30	近代中国と日本の軍政関係研究（一八九五―一九八二）



Anna ANDREVA	ハイデルベルグ大学アカデミックフェロー	ド	イ	ツ	12・11・13	13・6・30	中世・近世日本における密教とその地域的応用
Michael Dylan FOSTER	インディアナ大学准教授	ア	メ	リ	13・1・13	13・12・31	妖怪文化、年中行事、祭、儀礼、観光の研究、ユネスコ
Thi Hoang Mai TRAN	ベトナム社会科学学院附属東北アジア研究・情報図書センター 所長	ベ	ト	ナム	13・2・13	13・11・30	「日本の図書館におけるデジタル化環境」下の書誌コン トロール。ベトナムの図書館との比較研究」
陸 留弟	華東師範大学教授	中	国	国	13・4・13	13・9・30	茶庭における日本庭園と中国庭園
徐 禎完	翰林大学教授	韓	国	国	13・4・14	13・3・31	植民地朝鮮における文化権力としての能
鄭 鏐	壇国大学校文科大学教授	韓	国	国	13・4・13	13・6・30	韓日の近世小説と仏教
嚴 紹 暉	北京大学教授	中	国	国	13・6・13	13・8・31	中国から「古事記」を読む
Agnese HAJIMA	ラトビア大学准教授	ラ	ト	ビ	13・6・13	13・8・31	夢と表象—メディア・歴史・文化
Hans Bjarne THOMSEN	チューリッヒ大学教授	ド	イ	ツ	13・7・13	13・9・30	春画の中の言葉
Marina Konstantinova KOVALCHUK	極東国立総合大学東洋学大学准教授	ロ	シ	ア	13・7・14	13・6・30	幕末日本人留學生の目から見たロシア帝国
載 眺 芙	復旦大学日本研究センター准教授	中	国	国	13・7・14	13・3・31	日本の生活スタイルの変化に影響する要因に関する研究
劉 眺 峰	清華大学教授	中	国	国	13・9・14	13・8・31	大嘗祭研究

高馬京子	ヴァイターウタス・マグヌス大学 アジア研究センター常勤研究員	リトアニア	13・9・1	14・8・31	越境文化として「カワイイ」とその原点
Elizabetha PORCU	ライプツィヒ大学地域研究センター講師	ドイツ	13・9・1	14・8・31	京都の祇園祭―文化・宗教・共同体―
朴 映美	檀国大学校師範大学講師	韓国	13・9・1	14・8・31	韓国における近代的「知」の形成―服部宇之吉を中心として
唐 権	華東師範大学副教授	中国	13・9・1	14・8・31	近世中国に於ける日本語による文学創作に関する研究
Harald FUJESS	ハイデルベルク大学教授	ドイツ	13・10・1	14・9・30	日本居留地での日常生活及び治外法権
森 幸一	サンパウロ大学教授、サンパウロ大学日本文化研究所長	ブラジル	13・10・1	14・7・31	新大陸の日系移民の歴史と文化
外村 中	ヴェルツブルグ大学講師	ドイツ	13・10・1	14・3・31	日本庭園と中国・インドの古代庭園の比較研究
王 鍵	中国社会科学院近代史研究所台湾史研究室研究員	中国	13・11・1	14・10・31	日本植民地経営の連続・不連続―台湾、満州における後藤新平の施策を中心に
Emilia GADELEVA	フリーランス（研究者）		14・1・1	14・12・31	いわゆる「日本スタイル」…西洋にどのように解釈され、どのように受入・拒絶されるか
楊 際開	杭州師範大学国学院専任研究員	中国	14・3・1	15・2・28	東アジアの視野における 徂徠学と反徂徠
朴 順愛	湖南大学校人文社会大学教授	韓国	14・4・1	15・3・31	日本大衆文化とナシヨナリズム
王 成	清華大学教授	中国	14・4・1	15・3・31	中国の大衆文化の復興と日本文化について
Gergana RumenoVA PETKOVA	ソフィア「聖クリメント・オブリスキ」大学准教授	ブルガリア	14・4・1	14・9・30	日本民話の解釈から日本文化の理解へ
王 明珂	国立中興大学特任教授兼文学学院院长	中国	14・7・1	15・6・30	近代以前の満州の歴史と人類生態の変遷

Linh Hain PHAN	ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学講師	ベトナム	14・8・1	14・8・31	お歯黒文化圏に関する試論―ベトナムと日本を事例にして
Luciana GALLIANO	カ・フォスカリ大学客員教授	イタリア	14・9・1	15・3・31	日本とフルクサス。フルクサスにおける日本人アーティストや日本の美楽―日本方からフルクサスを見直す
Andrew Clarence GERSTLE	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院教授	イギリス	14・9・1	15・8・31	パロディの一形態としての春画の文化的・社会的意義
朴 正一	釜山外国語大学校教授	韓国	14・9・1	15・8・31	人とモノの移動に伴う新しいコミュニティの形成―井戸茶碗と朝鮮茶碗
梁 嶸	北京中医科大学教授	中国	14・9・1	15・8・31	日中健康診断史の比較研究
望 月 みや	サンタクララ大学イエズス会神学校准教授	アメリカ	14・9・1	14・11・30	世界的観点・ジェズイットと日本最初の欧州芸術
Ranjana MUKHOPADHYAYA	デリー大学准教授	インド	14・9・1	15・5・31	日本仏の平和思想的展開―ポストコロナリアル理論の視点からの考察
Richard Edger TORRENCE	オハイオ州立大学教授	アメリカ	15・1・1	15・12・31	出雲と大阪…二つの地方文化史
Kevin Michael DOAK	ジョージタウン大学教授	アメリカ	15・1・1	15・12・31	田中耕太郎の思想と行動
高 文勝	天津師範大学教授	中国	15・1・1	15・12・31	一九二〇年代における日中外交史の実証的研究―中国側の視点から―
李 容相	又松大学副教授	韓国	15・2・1	16・1・31	植民地統治期の日本の鉄道政策に関する研究―日本と朝鮮と満州鉄道との政策比較を中心に
Michel MOHR	ハワイ大学マノア校准教授	アメリカ	15・2・1	15・7・31	解脱に対する禅理解の再検討

Maya Bedros KELIYAN	ブルガリア科学アカデミー教授	ブルガリア	15・4・1	16・3・31	日本とブルガリアの地域社会における祭礼比較を通して
韓 錫 政	東亜大学教授(副学長)	韓 国	15・4・1	16・2・29	満州国から南朝鮮への文化的拡散
Monir Hossain MONI	アジア太平洋研究所准教授	バングラデシュ	15・4・1	16・3・31	二一世紀ニューアジアにおける日本のパブリックディプロマシーとソフトパワー
李 愛 淑	国立韓国放送大学教授	韓 国	15・6・1	16・5・31	女性の文学と絵画
歐 素 瑛	国史館修纂処纂修	台 湾	15・6・15	15・9・15	台北帝国大学と熱帯気象学の展開―白鳥勝義を中心に
張 寅 性	ソウル大学校教授	韓 国	15・7・1	16・3・31	戦後日本の保守主義に関する一研究―福田恆存と江藤淳を中心に
Igor Konstantinovich BOTOEV	ブリヤート国立大学准教授	ロ シ ア	15・8・1	16・7・31	日本文学の翻訳における異文化コミュニケーションの諸問題
Nhu Vu Quynh NGUYEN	在ホーチミン日本国総領事館広報文化班アシスタント	ベ ト ナ ム	15・9・1	16・8・31	現代日本社会における俳句の変化
Bonaventura RUPERTI	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学教授	イ タ リ ア	15・9・1	16・8・31	日本の舞台芸術における身体―死と生、人形と人工体
李 応 寿	世宗大学校人文科学大学教授	韓 国	15・9・1	16・8・31	日本と韓国―演劇から文化へ
龔 穎	中国社会科学院哲学研究所研究員	中 国	15・9・1	16・8・31	中国における近代的な学問の成立と日本思想との交流―倫理学を例にして
Eyal BEN-ARI	キネレット大学社会安全保障センター所長	イスラエル	15・9・16	16・3・31	よい戦死から戦没者の魂のためのよい安息へ…産業民主主義の武装勢力の比較分析

姜 龍 範	延辺大学教授	中 国	16・1・15	16・12・31	戦後日朝関係研究
周 閱	北京語言大学教授	中 国	16・2・15	17・1・31	川端康成文学と中国文化
Mathijs Jean- Francis HAYEK	パリ・デイドロ大学准教授	フ ラ ン ス	16・2・15	17・1・31	近世初・中期の「知」の形成と媒体―日本のヒューマニズムと啓蒙思想の基礎的研究
官 文 娜	香港中文大学アジア太平洋研究所助教	中 国	16・4・15	17・3・31	近代化過程における日、中兩國の風俗改造と国民修身教育に関する歴史的考察
Maral ANDASSOVA	カザフ国立女子教育大学研究員	カザフスタン	16・4・15	16・9・25	古事記及び日本書紀における「天皇像」に関する考察
山 崎 佳代子	ベオグラード大学教授	セルビア	16・6・15	16・11・30	セルビア・アヴァンギャルドと日本
鄭 在 貞	ソウル市立大学校教授	韓 国	16・6・15	16・8・31	植民地期の鉄道とソウル、そして市民の生活
Barbara HARTLEY	タスマニア大学上級講師、プロ グラム・ディレクター	オーストラリア	16・7・15	17・6・30	昭和期における大陸表象―物語と視覚イメージ
宋 浣 範	高麗大学 GLOBAL 日本研究 院教授（副院長）	韓 国	16・7・15	17・2・28	説話文学と歴史史料の間に
鄭 相 哲	韓国外国語大学教授	韓 国	16・9・15	17・8・31	「東京裁判」における通翻訳の研究―社会・文化・政治的な観点から―
李 濟 滄	南京師範大学副教授	中 国	16・9・15	17・8・31	谷川道雄の中国史研究とその思想
劉 雨 珍	南開大学教授	中 国	16・9・15	17・8・31	筆談と明治前期の中日文化交流
Chung Toan TRAN THI	グエンチャイ大学副学長兼日本 語学部学部長（准教授）	ベトナム	16・10・15	17・9・30	平安時代の女流日記文学を通じて古代日本文学における女性像と女性作家の役割を探る

葛 勇	鄭州大学アジア太平洋研究センター副教授	中国	16・11・1	17・10・31	来日唐僧からみた唐仏教文化と古代日本―受容と抵抗の外来文化―
Bert WINTHER-TAMAKI	カリフォルニア大学アーバイン校教授	アメリカ	17・1・1	17・12・31	近代日本の陶芸、写真とインスタレーション・アートにおける土の美
Nicolas FIEVÉ	高等研究実習院教授	フランス	17・2・1	18・1・31	人間自然学観点からの近代住宅空間評論史

〔外来研究員（日本学術振興会）〕

氏名	就任時の所属	上記機関の所在国	受入期間	研究テーマ	
Xun LI	マッセー大学リサーチアシスタント	ニュージーランド	07・9・10	09・9・9	イースター島の生態史における人為的影響
陳 媛	台湾中央研究院台湾史研究所助研究員	台湾	07・11・20	08・11・19	植民地帝国日本と東アジアの知識交流―台湾と朝鮮の植民地期メディアを対象に―
Noriko MANABE	ブルックリンカレッジ講師	アメリカ	08・2・18	09・1・17	西洋音楽語法で書かれた日本の歌の変遷―歌詞と旋律・リズムの関係を中心に
Bjorn BERGLUND	Lund 大学名誉教授	スウェーデン	08・10・1	08・11・6	日本とスウェーデンの里山の比較研究
Johan ERIKSSON	ゴットランド大学准教授	スウェーデン	12・4・19	12・5・18	〃
李 偉	総合研究大学院大学博士（学術）	日本	09・3・11	09・3・27	近世日本におけるビジュアルコミュニケーション
Micah Louis AUBERACK	ミシガン大学准教授	アメリカ	10・4・1	12・3・31	満州における公園文化の受容―日本人の造園活動を中心に―
		アメリカ	10・6・2	11・7・31	近代日本におけるさまざまな伝

趙 暁 寰	オタゴ大学准教授	ニュージーランド	11	・ 1	・ 5	・ 11	・ 3	・ 5	関漢卿の雜劇と世阿弥の能における幽霊の表現方法の比較研究
James SHIELDS	バックネル大学准教授	アメリカ	11	・ 5	・ 30	・ 11	・ 7	・ 29	明治・大正期の新仏教運動と一八八〇年代から一九三〇年代の進歩的仏教の結社活動
Paola VOCI	オタゴ大学シニアレクチャラー	ニュージーランド	11	・ 10	・ 3	・ 11	・ 10	・ 29	日中戦争をテーマとする中国映画に現れたコミュニケーションの問題
Per LAGERAS	スウェーデン・ナショナルヘリテージ委員会研究員	スウェーデン	12	・ 4	・ 19	・ 12	・ 5	・ 18	スウェーデンと日本における自然と人間の関係の比較研究
許 海 華	総合研究大学院大学大学院生	日本	12	・ 11	・ 1	・ 13	・ 3	・ 31	幕末明治期における旧唐通事の史的研究
李 卓	南開大学教授	中国	13	・ 1	・ 7	・ 13	・ 1	・ 26	古代日本における科挙制度の導入および廃止について
Alice Joy FREEMAN	オックスフォード大学博士課程	イギリス	13	・ 2	・ 20	・ 13	・ 5	・ 19	昭和期日本の禅の国際交流―アジア・西洋との関係
Ekaterina LEVCHEIKO	極東国立人文大学専任講師	ロシア	13	・ 4	・ 1	・ 14	・ 3	・ 31	日本の上代文学作品における慣用語について
陳 其 松	総合研究大学院大学大学院生	日本	13	・ 4	・ 1	・ 14	・ 3	・ 31	一九世紀西洋図像新聞紙における東アジア図像印象について
Anja BATRAM	ルール大学博士課程	ドイツ	13	・ 6	・ 18	・ 14	・ 8	・ 19	江戸時代における神社の変遷…氏子組織と近代神道概念の構築
Frederic MONVOISIN	パリ第3大学講師	フランス	13	・ 10	・ 7	・ 14	・ 10	・ 6	映画、アジア映画、フィルム分析、地政学、現代史
Agnese HAJIMA	ラトビア大学准教授	ラトビア	15	・ 6	・ 1	・ 16	・ 1	・ 31	日本美術に見るユーモア

印 南 美沙子	ダラム大学助教	イギリス	16・7・1	16・9・30	スキンシップ..触れられるものと触れられないものを介して
Galia Todrova PEJKOVA	国立演劇映画芸術アカデミー客員講師	ブルガリア	16・11・4	18・11・3	日本における伝統演劇―ジェンダー論、文化的遺産、国家／地域のアイデンティティ―
陸 榮 洙	中央大学校教授	韓 国	16・12・26	17・2・23	一九世紀後半における日韓エリートたちのアメリカ文明評価
韓 寶 娜	東北師範大学教授	中 国	17・1・30	17・3・31	日本古都研究に関する新情報

〔外来研究員（国際交流基金）〕

氏 名	就任時の所属	上記機関の所在国	受 入 期 間	研 究 テ ー マ	
Raquel ABISAMARA	ブラジル科学技術開発協議会 研究員、ジャーナリスト	ブラジル	07・7・2	08・6・1	都会の風景と現代日本詩
Junko OTA	サンパウロ大学所長（教授）	ブラジル	08・1・7	08・4・3	江戸から明治時代にかけての日本語変化の文化・社会・歴史的背景
Maria Teresa Rodriguez	バルセロナ自治大学研究員	ス ペ イ ン	09・6・24	09・9・23	明治期における文化受容―日本人著者と翻訳者及び文化的仲介者としての役割について
Wiebke DENECKE	コロンビア大学バーナードカレッジ准教授	ア メ リ カ	09・9・1	10・6・1	中国・ギリシアの足跡―日本語世界とラテン語世界の作者たちとその文学伝統
Minh Hang HOANG	ベトナム社会科学院研究員	ベ ト ナ ム	10・5・22	10・11・21	一九七〇年代の福田ドクトリンと東南アジアにおける日本の政治的役割の台頭



白石 実	バルセロナ自治大学コーディネイター	スペイン	10・7・13	10・9・9	日本美術における東アジア美術の影響…思想と形、資料収集、データ作成
Anne COMMONS	アルバータ大学准教授	カナダ	10・10・19	10・12・16	俊頼の詩的特質―『俊頼髓脳』にけるカノン形成と説話引証をめぐって
Vijay Suryakant TENNETI	英語・外国語大学准教授	インド	11・1・15	12・1・15	社会文化的理解と異文化交渉
Thi Hoang Mai TRAN	ベトナム社会科学院附属東北アジア研究センター所長 報図書館センター所長	ベトナム	11・6・15	12・3・15	日本の図書館におけるデジタル化環境下の書誌コントロール―ベトナムの図書館への教訓―
Gita KEENI	ヴィシュヴァ・パールティイ大学 (タゴール大学) 講師	インド	11・6・30	12・6・27	女性に関する日本とベンガルのことわざの比較研究
Csaba Gergely TAMAS	パーズマーニ・ペーテル・カトリック大学非常勤講師	ハンガリー	11・7・9	11・8・13	日本の議会政治―その歴史的進展と現代的課題―
Huong Lan NGO	ベトナム社会科学院東北アジア研究所日本研究センター副所長	ベトナム	11・10・1	12・5・31	日本人のコミュニケーション文化の特徴…ベトナムの断わりの言語行為との比較
Andrijana CVETKOVIK	欧州映画アカデミーESRAパリスコピエーニューヨーク客員教授、映像作家、映像研究者	マケドニア	11・12・1	12・11・30	映画表現を通じた文化的イメージと日本の潜在意識の形
Edward Thomas MACK	ワシントン大学准教授	アメリカ	13・3・14	14・3・13	ブラジルにおける日本語のフィクションと民族／国民文学の問題
James SHIELDS	バックネル大学准教授	アメリカ	13・8・1	14・7・31	春と修羅…明治末期から昭和初期までの仏教改革と革命

Nguyen Ngoc	ベトナム東北アジア研究所・日本	ベトナム	13	9	10	14	5	10	第二次世界大戦後から一九九六年にかけての日本の新
Phuong TRANG	研究センター研究員(博士課程)	ベトナム	13	9	10	14	5	10	宗教
Galina	キルギス民族大学上級日本語講師	キルギス	13	12	1	14	5	31	非漢字圏日本語学習者のための階層構造分解による新
VOROBVA									常用漢字の分析
Amaury GARCIA	エル・コレヒオ・デ・メヒコ大	メキシコ	14	6	15	15	6	14	日本美術史における生産・流通・消費の回路・歴史学
	学アジア・アフリカ研究セン								的な再評価
	ター教授								
Wael Mohamed Orabi	キング・サウード大学准教授	エジプト	14	6	15	14	7	28	日本・アラブ近代文学の〈接点〉を探る比較研究プロ
ABDELMAKSoud									ジェクト
Andrew GORDON	ハーバード大学ライシャワー日本研究所教授	アメリカ	14	9	1	15	5	31	『失われた20年』の同時代史に向けて
Galia Todorova	国立演劇映画芸術アカデミー客員講師	ブルガリア	14	11	1	15	9	30	女もの・日本の伝統的男性演劇における女性性の登場
PETKOVA									と役割
Nhung Thi TRAN	ベトナム社会科学院東北アジア	ベトナム	14	11	25	15	1	23	二〇一二年度日本の社会保障改革の日本の高齢者層へ
	研究所上級研究員(所長)								の影響―ベトナムへの提言として
Yanru ZHANG	中国社会科学院世界歴史研究所準教授	中国	16	8	1	16	12	31	近代日本における国体をめぐる議論
Nathalie	エディンバラ大学大学院生	イギリス	16	10	1	17	5	31	平安時代の社会・政治的な背景から見た超(越)自然
PHILLIPS									的な信仰の認識論的な役割
Meghen JONES	アルフレッド大学助教	アメリカ	17	1	10	17	8	10	茶碗・日本から世界へ

## 〔外来研究員（外国人来訪研究員）〕

氏名	就任時の所属	上記機関の所在国	受入期間	研究テーマ
大森 恭子	ハミルトン大学助教授	アメリカ	07・5・8～07・5・31	「モダニズム」を探偵する…雑誌『新青年』探偵小説、日常と平俗のモダニズム文化（一九二〇～一九五〇年） 和歌における日本の美学―身体感覚を通して
Michael MARRA	カリフォルニア大学ロサンゼルス校日本研究センター教授	アメリカ	07・6・11～07・6・25	近代日本語彙の研究文献調査
李 漢 燮	高麗大学校教授	韓国	07・7・12～07・8・25	〃
Andrew Clarence GERSTLE	ロンドン大学教授	イギリス	07・8・7～07・9・6	18世紀艶本の研究
Louis Michael CULLEN	ダブリン大学トリニティーカレッジ教授	アイルランド	08・3・5～08・3・30	徳川時代の官吏と支配―発展体制と資料
Thomas LAMARRE	マギル大学教授	カナダ	08・14・3～08・14・4	鎖国時代日本の外交政策決定における文書原拠の研究 と分析 江戸時代の統計的資料…長崎貿易の資料と研究の問題 戦前の国策漫画映画と日本の動物観・進化論に関する研究

Amaury GARCIA	エル・コレヒオ・デ・メヒコ・大学院大学教授	メキシコ	08・6・24	08・6・30	西川祐信と上方艶本文化
Agneszka KOZYRA	ワルシャワ大学教授	ポーランド	10・6・27	10・7・4	一九世紀の出版の商業戦略・国芳と国貞の艶本の場合
Gina Lee BARNES	ダーラム大学名誉教授 ロンドン大学リサーチ・アンシエイト	イギリス	08・7・1	08・12・15	四世紀中期～五世紀大和における工芸技術の進歩
金 榮 哲	漢陽大学校教授	韓国	08・7・4	08・8・3	井原西鶴『浮世草子』の京都と遊興の美意識
Constantine Nomikos VAPORIS	メリーランド大学教授	アメリカ	08・7・28	08・7・31	参勤交代に関する思想
Yonna Tareef Amin ELKHOLY	カイロ大学教授	エジプト	08・8・25	08・9・14	日本文化における哲学と科学
楊 念 群	中国人民大学清史研究所教授	中国	08・11・1	08・11・30	日中近代医学概念成立の比較的研究
Norio THUNMAN	ヨーテボリ大学教授	スウェーデン	09・5・25	09・7・13	俳諧の連歌の文学史上の位置―中興の俳諧復興期の批判的評価
Shawn BENDER	ディッキンソン大学准教授	アメリカ	09・6・17	09・8・3	高齢化社会向けの知的機械の創造―日本の介護ロボット工学とテクノロジー
Mats KARLSSON	シドニー大学講師 シドニー大学シニア講師	オーストラリア	09・7・21	09・10・9	日本のプロレタリア文化運動再考

Mark Cody POULTON	ヴィクトリア大学教授	カナダ	09・8・7	16・7・1	16・12・31	木下恵介監督再評価…日本映画黄金時代における人気映画製作の原点を探る
			09・8・10	15・13・6	5・3	『コロンビア現代日本戯曲名作集』の翻訳、注釈、編集完成
			12・8・15	13・13・6	5	日本演劇における「非人間的なるもの」との遭遇…霊・動物・テクノロジー
Chavalm SVETANANT	マコーリー大学講師	オーストラリア	09・11・16	14・11・3	15・1・31	文化を越えた感情…標準日本語とタイ語の語彙の比較からみた琉球語の「感情語」のエスノグラフィ的研究
Massimiliano TOMASI	ウェスタンワシントン大学教授	アメリカ	09・11・25	09・12・11	11	キリスト教の比喩論―近代日本文学における「信仰」の問題
Tobias CHEUNG	中央研究院台湾史研究所副研究員	台湾	09・12・1	10・10・3	30	鷺巣敦哉とその植民地世界
Sina JELBRING	フンボルト大学ハイゼンベルグ・フェロード	ドイツ	10・4・1	10・10・4	30	日本における生理学の受容…自然と人文科学における星座比較
	ストックホルム大学講師	スウェーデン	10・4・29	10・6・8	8	『源氏物語』のメタファー論とスウェーデン語訳
	ストックホルム大学准教授		13・4・1	12・4・4	20	〃
			14・10・9	14・14・1	8	〃
			15・24・15	12・12・7	16	歌物語における死のテーマ―伊勢物語と大和物語の場合
			16・11・24	15・12・16		古代日本の歌論…比喩概念を中心に

David HUGHES	ロンドン大学リサーチ・アンシエイト	イギリス	10・16	7・6	6・25	10・16	7・7	19・20	一、心の郷を守る…無形文化財としての民謡 二、日本民謡の将来…保存団体および民謡大会の役割と影響 三、日本の盆踊り…世俗的か宗教的か 横光利一「上海」論
Wael Mohamed Orabi ABDELMAKSoud	カイロ大学専任講師	エジプト	10・10	7・7	20・10	10・8	16		
Ahmed Mohamed Farhy MOSTAFA	カイロ大学准教授	エジプト	10・10	8・8	7・10	9・9	9		野坂昭如文学におけるアメリカ人コンプレックス 特攻隊と日本戦後小説・その流れと問題点
奥泉 栄三郎	シカゴ大学図書館日本文庫長	アメリカ	10・10	11・11	1・10	11・11	30		日本研究のための大型・特殊・デジタル情報等の分析 評価とメディア・リテラシー
根川 幸男	ブラジリア大学准教授	ブラジル	11・11	1・1	1・11	12・12	31		人間文化研究機構「日本関連在外資料の調査研究」プロジェクト（カテゴリーBアメリカ大陸チームb） ロジェクト（カテゴリーBアメリカ大陸チームb）
黄 自進	中央研究院近代史研究所研究員	台湾	11・11	1・1	9・11	1・1	23		池田勇人内閣の二つの中国政策（一九六〇～一九六四） 東アジアの国際政治と沖縄返還 満州国の成立初期における社会基盤 全面戦争前夜における日中関係…緩衝勢力の位置づけを中心（一九三三～三五五）
柳 書琴	台湾国立清華大学台湾文学研究所准教授	台湾	11・11	2・1	1・24	16・2	6		上海魅影・植民都市としての台北と哈爾濱（ハルビン）の現代的考察

Yona SIDERER	エルサレム・ヘブライ大学上級講師	イスラエル	11・3・3	11・3・3	22	環境問題と日本における原子炉の安全策に関する研究… 政府と国民の視点から
孫 昌 武	南開大学教授	中 国	11・3・8	11・3・8	15	中国歴史における北方民族と仏教
太 田 雄 三	マギル大学教授	カ ナ ダ	11・4・1	11・4・1	31	遠藤周作と井上洋治におけるキリスト教の土着化の問題
蔡 敦 達	同済大学日本研究所教授(所長)	中 国	11・5・6	11・5・6	30	辻惟雄著『日本美術の歴史』の翻訳・注釈および伊東忠太・関野貞の中国美術・建築踏査に関する資料調査
吳 京 煥	釜山大学校人文大学教授	韓 国	11・7・4	11・7・4	3	保田与重郎と韓国の美
Beata KUBIAK	ワルシャワ大学准教授	ポーランド	11・9・9	11・9・9	8	今日の日本文学における日常生活の審美化(一九八〇)
Krysztyna WILKOSZEWSKA	ヤギエウォオ大学教授	ポーランド	11・9・22	11・9・22	8	日常生活の審美化
Wolfgang SCHAMONI	ハイデルベルク大学教授	ド イ ツ	11・10・4	11・10・4	6	松浦武四郎「近世蝦夷人物誌」の研究
Helena GRINSHPUN	エルサレム・ヘブライ大学付属トルーマン平和研究所博士研究員	イスラエル	16・4・11	16・4・11	30	松浦武四郎の「近世蝦夷人物誌」と幕末の文人社会の研究
呂 莉	中国社会科学院外国文学研究所教授	中 国	11・10・15	11・10・15	1	グローバルチェーンと日本の都市論…グローバル化の形成過程
黄 愛 民	上海海洋大学副教授	中 国	12・1・10	12・1・10	9	日中文化交流史の研究





Hans Martin KRAMER	ハイデルベルク大学東アジア研 究センター准教授	ド イ ツ	13 ・ 4 ・ 3 ・ 13 ・ 4 ・ 3 ・ 14	江戸期のオランダ商館日記にみる医療交流
Cynthia VIALLE	アントン・ウルリッヒ公爵美術館特別研究員	ド イ ツ	13 ・ 4 ・ 3 ・ 13 ・ 4 ・ 3 ・ 30	「日蘭文化交渉と海賊行為」に関する文献調査・分析
	ライデン大学研究員	オ ラ ン ダ	16 ・ 3 ・ 11 ・ 16 ・ 3 ・ 28	アジアを中心としたヨーロッパ拡張の歴史 ハーグ国立文書館所蔵平戸オランダ商館文書の調査・ 研究・活用
佐伯 千鶴	北アラバマ大学准教授(大学院研究科長)	ア メ リ カ	16 ・ 10 ・ 5 ・ 16 ・ 12 ・ 7	〃
楊 暎	カルガリー大学教授	カ ナ ダ	14 ・ 5 ・ 12 ・ 14 ・ 8 ・ 5	日米文化外交における日本人のアメリカ感の移り変わり 日米の民間文化外交
藩 光	台湾中央研究院副研究員(准教授)	台 湾	13 ・ 6 ・ 17 ・ 13 ・ 8 ・ 31	「後三年合戦絵詞」模本群をめぐる基礎研究 胡適と蒋介石
Charles EXLEY	ピッツバーグ大学准教授	ア メ リ カ	13 ・ 7 ・ 1 ・ 13 ・ 7 ・ 31	文化的批評としての「Cross-dressing 異性の服を着る こと」…森村泰昌の芸術
Nguyen Thi OANH	ベトナム社会科学学院准教授	ベ ト ナ ム	13 ・ 7 ・ 1 ・ 13 ・ 8 ・ 30	日本説話における「夢告」「讖緯」「童謡」などの未来 記についての考察ーベトナムの漢文説話との比較
Rotem KOWNER	ハイファ大学教授	イ ス ラ エ ル	13 ・ 8 ・ 15 ・ 13 ・ 9 ・ 5	戦前日本のインドネシア(かつてオランダ領東インド) に対する態度と印象
Gary James HICKEY	クイーンズランド大学研究員	オ ー ス ト ラ リ ア	14 ・ 7 ・ 9 ・ 14 ・ 7 ・ 23	近現代日本における肉食の文明 オーストラリア国立図書館の口絵研究

Sybilie GIRMOND	ヴェルツブルク大学リサーチ・ド アংশエイト(非常勤講師)	ド イ ツ	13・10・14・31	一八八五年(明治一八年)ドイツ・ニュルンベルク万 国金工博覧会に出品された日本の金工および七宝につ いて
鄭 義	尚志大學校助教(准教授)	韓 国	13・10・25・13・12・27	エスニックメディアと共同体参与―移民の社会、文 化政治活動を中心に
秦 剛	北京外国語大学北京日本学研究 センター副教授	中 国	13・12・15・14・8・14	一九三〇年代日本の出版メディアと中国知識界―改造 社と「改造」雑誌に繰り広げられた中日文化交渉
Sytilanos PALEXANDROPOULOS	アテネ大学教授	ギリシ ャ	14・2・10・14・3・3	ギリシア日本学の危機的状況への対処
戴 暁	復旦大学日本研究センター准教授	中 国	14・4・11・14・12・31	日本の生活スタイルの変化を影響する要因に関する研 究・戦後女性洋装化における影響要因の分析
Wayne FARRIS	ハワイ大学マノア校教授	アメリ カ	14・6・11・14・7・31	近世以降におけるお茶の食生活のおよび文化的位 置
奈良 博	ピッツバーグ大学教授	アメリ カ	14・6・15・14・7・7	日本の近代化におけるギリシヤへの志向
曹 景	台湾大学副教授	台 湾	14・6・7・4・16・8・1	フェノロサ著「美術真説」の英語訳
陳 紅	浙江工商大学講師	中 国	14・7・25・14・8・25	鎌倉期の三教一致論
張 文	中国人民大学副教授	中 国	14・7・25・14・8・25	意識から直訳へ―魯迅の翻訳姿勢の転換と明治の翻 訳思想の受容―
Dalibor KLICKOVIC	ベオグラード大学准教授	セルビ ア	14・8・4・14・8・28	日本における中国仏教研究 セルビアにおける日本仏教研究の推進

矢野 明子	ロンドン大学東洋アフリカ研究 学院ジャパン・リサーチ・セン ターリサーチ・アソシエイト	イギリス	14・9・5	15・8・27	江戸時代中後期の上方面における視覚芸術（書画）制作 に関する美術史的・文化社会史的考察
趙 建民	復旦大学日本研究中心／南開大 学研究所兼任研究員（兼任教授）	中国	15・2・27	15・3・28	欧州の日本研究者と宣教師の言語取得と出版に貢献し た南洋華僑
阿武 正英	祥明大学助教授	韓国	15・4・6	15・8・22	日韓サブカルチャーの比較研究
佐藤ロズベングナナ	祥明大学副教授	韓国	16・7・15	16・8・29	日韓サブカルチャーと映像文化研究
Denniza GABRAKOVA	香港城市大学助理教授	イギリス	15・6・29	15・7・31	一九七〇年代八〇年代の日本におけるトランスレー ションスタディーズ
David JOHNSON	ボストンカレッジ助教	アメリカ	15・8・1	15・8・26	主権の島々―有吉佐和子及び池澤夏樹作品考察
Galia Todorova PETKOVA	国立演劇映画芸術アカデミー客員講師	ブルガリア	15・9・1	16・8・29	自我について…和辻と共に
姜 娜	中山大学歴史人類学研究センター講師	中国	15・10・20	16・1・15	沖繩の対外文化交流史―海洋移民を中心に
王 米特	東北師範大学講師	中国	15・11・20	15・12・20	東アジア経済貿易史
Marina Konstantinova KOVALCHUK	極東連邦大学准教授	ロシア	15・12・24	16・1・24	幕末日本人留学生の目から見たロシア帝国
Christopher LEHRICH	インディペンデント・リサーチチャー	アメリカ	16・1・18	16・8・1	宗教、音楽、表象について

唐	権華東師範大学副教授	中	国	16・1・21	16・2・20	来船清人の研究——江芸閣を中心に
于	青島大学教授	中	国	16・12・26	17・5・26	『青輅』の文学空間
Aldo TOLLINI	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学准教授	イ	タ	17・2・28	17・5・26	キリシタン文学に見えるヨーロッパ人の日本文化の受容

〔外来研究員（A H R C）〕

氏名	就任時の所属	上記機関の所在国	受	入	期	間	研	究	テ	ー	マ
Aodhan Jesse	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン大学院生	イギリス	09・5・1	09・8・14		The Deutsche Werkbund：現代における歴史主義、古典主義、芸術思想					
Helena Capkova	ロンドン芸術大学チェルシー・カレッジ・オブ・アーツ大学院生	イギリス	09・5・21	09・10・16		日本の芸術の受容——一九二〇年～四〇年における中央ヨーロッパ建築とデザイン					
Hannah WATERSON	マンチェスター大学大学院生	イギリス	09・8・17	09・12・17		日本におけるエイズ—健康促進の展望					
Paul ROLLASON	オックスフォード大学付属仏教研究所講師	イギリス	10・10・1	11・3・30		現代日本文化におけるApocalypseの描写					
Simone Shu-Xeng CHUNG	ケンブリッジ大学大学院生	イギリス	12・1・4	12・4・30		Engaging Spatial Translatability by Reviewing Urban Complexity in East Asian Localities					
Malcolm MCNEILL	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院大学院生	イギリス	13・8・27	13・11・27		美術史概念としての禅画…中国禅画に対する日本の学術界の歴史的・現代的な潮流					
Shinhyung CHOI	タイニズ大学ヘルファスト特別研究員	カナダ	13・9・26	14・1・25		日本、北朝鮮、国際社会…現代日本の北朝鮮に対する文化的関与					
佐藤ロソヘナグナナ	イーストアングリア大学講師	イギリス	14・3・10	14・5・31		漫画から映画への翻訳、文化翻訳					

Magiella MUNRO	テートリサーチセンターアジア太平洋研究員	イギリス	14・7・15 ～ 14・10・14	自然に近く？ 日本のアートリストと環境、広島から福島まで
Hannah BAYLEY	キール大学博士課程大学院生	イギリス	14・10・20 ～ 15・3・20	サウンドと国際的な再映画化―日本の超自然的ホラー映画とアメリカのリメイクの音楽と文脈の分析
Ian RAPLEY	カーディフ大学東アジア史講師	イギリス	15・7・1 ～ 15・9・30	エスベラントとトランスナショナルな実践―戦間期日本における草の根国際主義と言語
Mark PENDLETON	シェフィールド大学東アジア研究所日本研究講師	イギリス	15・8・26 ～ 15・11・25	廃墟にみる日本の近代性
Joanne MCCALLUM	ファルマス大学大学院博士課程	イギリス	16・8・18 ～ 16・12・17	自然は師匠？ 日本の竹籠作りにみる情動、環境、そして仏教の伝統
【外来研究員（博報財団）】				
氏名	就任時の所属	上記機関の所在国	受入期間	研究テーマ
Ricard BRU TURULL	一、市立世界文化博物館総合内容コーディネーター 二、美術史と現代デザイン（モデルニスム）研究室員 三、モデルニスム講演会専任講師美術館コーディネーター	スペイン	15・3・1 ～ 15・8・31	20世紀の日本とスペインの芸術関係について
Cecile LAIV	パリ・ソルボンヌ大学極東研究センター（CREOPS）博士研究員	フランス	15・9・1 ～ 16・8・31	風物語

Lan Anh Thi NGUYEN	ハノイ大学副学長	ベトナム	16・3・1 16・8・31	ベトナム人日本語学習者に向けた日本事情教材作成
Natalia KLOBUKOVA	チャイコフスキー・モスクワ音楽院世界の音楽文化センター助手	ロシア	16・9・1 17・8・31	日本における正教会の聖歌とその発生、発展、特徴
Edoardo GERLINI	フィレンツェ大学／ヴェネツィア大学非常勤講師	イタリア	17・3・1 17・8・31	文学は無用か「不朽の盛事」か―平安朝前期に見る「文」の社会的役割とその世界文学における位相―

総合研究大学院大学文化科学研究科  
国際日本研究専攻入学者

(二〇〇七年四月以降を掲載)

- 韓 玲玲 (15年3月24日博士授与)  
九里文子  
李 ユンヒ
- 11年4月1日入学  
アントン・ルイス・カピストラノ・セピリア  
(15年3月24日博士授与)  
簡 中昊 (16年3月24日博士授与)  
王 莞晗
- 12年4月1日入学  
榮 元 (17年3月24日博士授与)  
西田彰一
- 13年4月1日入学  
光平有希 (16年3月24日博士授与)  
宇佐美智之  
小泉友則  
山村 燧
- 14年4月1日入学  
大石真澄  
坂 知尋  
春藤猷一  
ゴウランガ・チャラン・ブラダーン  
フレデリック・ウエストマン
- 15年4月1日入学  
片岡真伊  
田村美由紀  
増田 斎  
南 直子
- 16年4月1日入学  
長瀬 海  
仲田侑加  
单 荷君  
宋 琦
- 07年4月1日入学  
長門洋平 (12年3月23日博士授与)  
鈴木堅弘 (12年9月28日博士授与)
- 08年4月1日入学  
陳 凌虹 (12年3月23日博士授与)  
徳永誓子 (13年3月22日博士授与)  
岡本貴久子 (14年3月20日博士授与)  
大塚絢子
- 09年4月1日入学  
門脇朋裕  
楊 爽
- 10年4月1日入学  
漆崎まり (14年9月29日博士授与)